

「能登の里山里海」が 世界農業遺産に認定されました



白米千枚田（輪島市）

平成23年6月11日、中国・北京で開催された国連食糧農業機関（FAO）主催の国際フォーラムにおいて、「能登の里山里海」が「世界農業遺産（GIAHS）」に認定されました。

認定は世界で9番目、国内では初となるものです。

世界農業遺産活用実行委員会

（お問い合わせ先）

石川県里山創成室（金沢市鞍月1-1）

電話 076-225-1478

FAX 076-225-1479

「能登の里山里海」が国際的に評価

世界農業遺産への申請は、平成21年から国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット、農林水産省などが検討を開始。羽咋市以北の4市4町（七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、中能登町、穴水町、能登町）が「能登地域GIAHS推進協議会」を設立し、石川県と国連大学、金沢大学の推薦を受け、「能登の里山里海」をテーマに、平成22年12月に国連食糧農業機関（FAO）に対し申請をしていたものです。

「能登の里山里海」が評価されたのは、次のような理由によるものです。

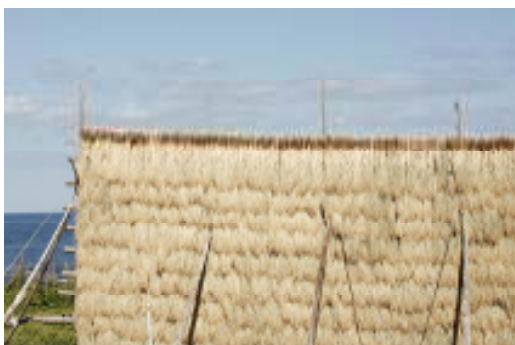
輪島市「白米千枚田」に代表される棚田や約2千カ所にもものぼるため池が維持され、中島菜や能登大納言小豆など数多くの地域特有の農産物が生産されていること。

また、能登の各地で行われている天日で稲穂を干す「はざ干し」、輪島塗、炭焼き、揚げ浜塩田、海女による素潜り漁など伝統的な農林水産技術や工芸が継承されていること。

そうした中で、田の神に感謝する神事で、ユネスコの無形文化遺産に認定されている「あえのこと」、キリコ祭り、輪島朝市など農村の暮らしと結びついた風習や文化が多く継承されていること。



能登のキリコ祭り



能登のはざ干し



能登黒炭



中島菜



能登大納言小豆

さらに、シャープゲンゴロウモドキをはじめ里山を生活圏とする希少な動植物も数多く生息するほか、300種以上の渡り鳥が確認されるなど多様な動植物や生態系が保全されていること。

これらが高く評価され、「能登の里山里海」が次世代に引き継ぐべき素晴らしい財産として国際的に認められました。



輪島朝市



輪島塗

～「能登の里山里海」を未来へ～

分類	主な事例
農産物及び海産物	神子原の米、金蔵の米など能登の米、中島菜、能登大納言小豆、大浜大豆、能登峨山キリシマ、ナマコ、カジメ、絹もずく など
農産加工品及び海産加工品	ころ柿、梅干し、味噌、酒、ワイン、岩のり、クチコ、コノワタ など
農業振興及び交流促進	輪島朝市、飯田朝市、春蘭の里、烏帽子親制度 など
歴史的かんがい施設、その他歴史的建築物	漆沢池、雁の池等のため池、江黒用水などの用水路、豊田村孫三の干拓事業 など
里山保全の取り組み及び教育	白鳥の里、トミヨの里、冬水田んぼ など
農村景観	白米千枚田等の棚田、門前町の間垣、七尾西湾のカキ棚、旧福浦灯台 など
慣習、その他	あえのこと、キリコ祭り、御陣乗太鼓、唐戸山神事相撲、あばれ祭り、青柏祭 など
伝統技術	稲のはぎ干し、炭焼き、海女漁、揚げ浜塩田 など
農業関連工芸	輪島塗、能登上布 など
歴史的建造物	時国家、角海家、黒丸家 など
生物	ホクリクサンショウウオ、シャープゲンゴロウモドキ、イカリモンハンミョウ、トミヨ、モリアオガエル など



世界農業遺産Q&A

世界農業遺産とは？

世界農業遺産（Globally Important Agricultural Heritage Systems）は、国連食糧農業機関（FAO）が平成14年から開始したプロジェクトで、次世代へ継承すべき重要な農法や生物多様性等を有する地域を認定するものです。

世界農業遺産の目的は？

世界農業遺産の目的は、世界的に重要な農業上の土地利用、景観、生物多様性の保全を推進することです。地域に古くから伝わる農業や伝統的・文化的資源を活用しつつ、生物多様性の保全や生物資源の持続的な利用を図ります。

世界農業遺産はどこにあるの？

これまで、ペルー、チリ、中国、フィリピン、アルジェリア、タンザニア等、世界9カ国で8地域が認定されていましたが、平成23年6月、新たに、日本の能登地域と佐渡市、中国、インドの4地域が認定されました。



ユネスコの世界遺産との違いは？

次世代への継承を目指す点は共通していますが、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界遺産は遺跡や歴史的建造物、原生的な自然を登録対象としているのに対して、世界農業遺産は、現在も営まれている重要な農業活動、生物多様性、農村景観などを有する地域を認定するものです。